

高梁川流域 キッズ

たかはしがわりゆういき

高梁川流域の

し て い ぶ ん か ざ い し せ き

指定文化財(史跡)

でんびっちゅうこくふあと

伝備中国府跡

新高
見梁
市市

総社市

早倉矢井浅里笠
島敷掛原口庄岡
町市町市町市



場所

・総社市金井戸



時代

・奈良～平安時代



指定年月日

・昭和58(1988)年
3月20日



所有

・国



し せ き

この史跡について

国府とは、律令制下、備前国・備中国などの各国に置かれた役所のことで、その国の政治上・軍事上の中心として、中央から派遣された国司という官僚が執務を行なったところです。

国司は、国を統治するため行財政・司法・軍事をつかさどり、郡の役人を指揮し徴税を行ないました。総社市が含まれる備中国は、9郡97郷が管轄下にあり、国府はそのうちの賀陽郡に置かれたと記録されています。国府が置かれた場所については定かではありませんが、「国府」「国府西」「北国府」などの小字名がみられる金井戸の地の中でも、「御所」の地名が残るこの場所が、有力な候補地になっています。

そのほか、総社宮付近や、西阿曾周辺に求める見解もありますが、いずれにせよ備中国府は総社市内に存在したものと考えられます。

